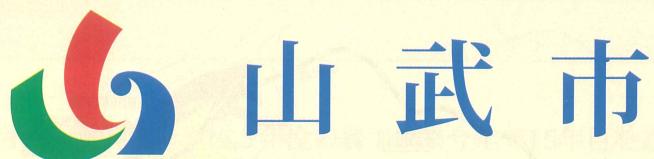


両総用水事業推進協議会会員市町村紹介



山武市長

椎名千収



山武市は、千葉県の東部に位置し、県都千葉市や成田国際空港まで約10～30キロメートル、都心へも約50～70キロメートルのところにあります。

日本有数の砂浜海岸である九十九里浜のほぼ中央で、約8キロメートルにわたって太平洋に面し、総面積は146.38平方キロメートルです。

地勢は大別して、太平洋の青い水平線と白い砂浜のコントラストが美しい九十九里海岸地帯と、その後背地としての広大な沖積平野及び丘陵地帯で構成されており、これらは海岸線にほぼ並行に帯状に展開しています。

海岸地帯は、砂浜と松林が連なり、成東海岸と蓮沼海岸の遠浅の海が広がり、夏には多くの海水浴客が訪れます。

平野地帯は、本地域の中央部に広がる肥沃な土壌を持つ九十九里平野で、田園地帯を形成しています。

丘陵地帯は、下総台地の一角を形成し、平坦部の畑と谷津田などの農地と山武杉の美林が連なり、良好な自然環境を形成しています。

豊かな農地の広がる当市の基幹産業は、何といっても農業であることに変わりはありません。稲作はもちろん、ねぎやにんじん等の野菜や、いちごやメロン等の果実の生産も盛んであり、本市を代表する山武杉を活用した林産物、九十九里浜の海の幸と、自然の恵み豊かな地域であるとともに、海水浴やゴルフ、テニスなどのスポーツも楽しめ、若者にも魅力ある地域資源を有しています。

近年では、交通アクセスの利便性も向上しており、今後更なる交流と物流と観光の拠点として発展することが期待されています。

